



シンポジウム

英国、インド、日本をめぐるアジア主義とジャポニスム

日時 2012年10月2日(火) 13:00-18:00

場所 大阪大学文学研究科本館2階 大会議室



『「二重国籍」詩人 野口米次郎』(名古屋大学出版会、2012)の著者・堀まどか氏をお迎えして、シンポジウムを行います。同書で詳述されているように、野口は、日本、英国、インドなど世界を駆け巡り、巧みに立ち回る一方で、時に衝突を引き起こしました。そんな野口の軌跡と、同時代のジャポニスムやアジア主義との複雑な往還を考える試みです。出入りは自由ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

第一部 インド旅行記とアジア主義—野口米次郎と鹿子木員信を中心に

国際日本文化研究センター・機関研究員 堀まどか
野口米次郎とインド—神智学者や神秘主義者らとの関係を中心に

大阪大学 橋本順光
鹿子木員信のインド仏蹟巡礼と国外退去について

全体討議 ディスカッション 神戸学院大学 赤井敏夫
福岡女子大学 鈴木暁世



第二部 19世紀末から20世紀初頭の英語圏における

日本文学・文化の発信と相互交渉関係

鈴木暁世

20世紀初頭の西洋演劇における日本とギリシアの結合—郡虎彦を語る D. H. ロレンス

大阪大学博士後期課程院生・比較文学 Victoria & Albert Museum 山田晃子

20世紀初頭のイギリスのファッションにおけるキモノブームと、それを支えた日英の百貨店
について—高島屋と Harrods を中心に

橋本順光

アイルランド人神智学者のアジア主義—ジェームズ・カズンズの滞日活動とその余波

全体討議 ディスカッション 赤井敏夫
堀まどか

主催：大阪大学比較文学会

科学研究費補助金「20世紀初頭のインド旅行記におけるアジア主義と黄禍論の日英比較研究」研究成果発表会

科学研究費補助金「20世紀初頭の英語圏における日本演劇の上演と相互交渉の調査—郡虎彦と菊池寛を軸に」研究成果発表会

